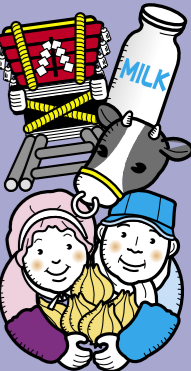


地域の催しや明るい話題などが
「さあ」なら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



おめでとう

全国大会出場

◆全国中学校体育大会
8月19日から開催された全国中学校軟式野球大会(岡山県)に出場しました。



▲近畿中学校総合体育大会で準優勝し、全国にコマを進めた広田中学校野球部

◆日本高等学校選手権水泳競技大会
中尾 玲華さん(須磨学園高)

◆JOCジュニアオリンピック
夏季水泳競技大会
中川 さつきさん(洲本高)

長岡 正大さん(三原中)

アジア国際子ども映画祭受賞者

◆杉良太郎特別賞
放課後子ども湊教室

◆B&G財団会長賞
中田 瑠奈さん(榎列小)

◆優秀賞

天野 杏音さん(榎列小)
近藤 羽香菜さん(広田小)
栄井 芳樹さん(松帆小)
吉川 美波さん(灘小)
ソン ジャオさん(湊小)
助島 ひかるさん(松帆小)
大濱 遼太郎さん(御原中)
中尾 新さん(三原中)
登 泰智さん(辰美中)

◆努力賞

豊田 百々奈さん(市小)
久田 直樹さん(松帆小)
牧瀬 彩翔さん(辰美小)
放課後子ども阿万教室
村上 由依さん(榎列小)
村上 弘樹さん(榎列小)

◆奨励賞

榎勢 大樹さん(阿万小)
梶田 朋花さん(福良小)
三宅 奏一郎さん(榎列小)
内田 晃雅さん(松帆小)
桐原 麻奈さん(淡路三原高)

【ポスター部門】

◆杉良太郎特別賞
ソン ジャオさん(湊小)
◆南あわじ市長賞
齋藤 友果さん(湊小)
◆南あわじ市教育長賞
有賀 大希さん(湊小)
◆同実行委員会委員長賞
出嶋 栞恋夢さん(湊小)



▲選手からボートの漕ぎ方や前に進むコツを教わりボートに挑戦します

夏休みの思い出。ボートに初挑戦

夏休みボート体験教室

松帆小学校で8月9日、三洋電機(株)洲本ボート部の人たちが訪れ、夏休みボート体験教室が開催されました。同ボート部は全日本社会人選手権女子ダブルスカルで8連覇を達成している強豪チームです。創部20周年を迎え、子どもたちにボートに親しんでもらおうと体験教室を企画。松帆地区の農業用水路で8年前から練習をしていたこ



▲今回はシングルスカルという一人乗り用ボートを利用しました

ともあり、地元の子どもたちと呼びかけました。この教室に参加したのは同小学校6年生の子どもたち31人。参加した前川優真(ゆうま)さん(松帆)は、「全身を使っ

水仙を市内一帯に広げるために

球根の掘り出し作業



▲球根の掘り出し作業

花づくり協会のメンバーらが7月28日に、阿万バイパスの歩道両脇にある花壇から水仙の球根を掘り出しました。この日作業にあつたのは20人。作業は、市制5周年記念事業の一環で、市の花「日本水仙」を市内に広げるために行われました。

花壇の水仙は、10年前に地元住民の手によって道路両端に200mずつ植えられていました。その後、球根が増え密集状態になり、成長しにくくなつたため今回の作業に至りました。掘り出された球根は2万個。4000個は元の花壇に戻され、



▲掘り出した球根も来年2月には花を咲かすと話す谷口会長

1万6000個が、市内の小中学校などの公共施設に配布され、10月に植えられます。同協会の谷口保会長(広田)は、「市内全域に水仙が広がることを目指している」と話していました。

境内に灯された、揺りめく光

淡路国分寺で献灯会



▲境内に灯された幻想的なろうそくの光。檀家の代表の方も協力し、準備が進められました

淡路国分寺(八木)で8月1日、ろうそくの光を夕闇に灯す「献灯会」を初めて開催しました。淡路国分寺では、国指定の重要文化財「木造釈迦如来坐像」を所蔵。献灯会には、同像に灯りを献上し、無病息災や家が

内安全などを願うという意味が込められています。半透明のカップに入れられたろうそくの数は400本。境内では、夕刻から火が灯され、ろうそくの揺らめく光に参拝者は酔いしれました。



▲本尊と国分寺を多くの人に知ってもらいたいと話す久保孝学住職

献灯会を企画した久保孝学住職は、「夜は辺りが真っ暗になるので、ろうそくの光が際立ちました。夏夜の静かな雰囲気を楽しんでもらえたと思います。来以降も続けていきたいですね。国分寺の広い境内を使って、数も徐々に増やしたいと考えています。献灯会のやりわらかい光の中で人形浄瑠璃を見るのができればなという夢もあります」と話しました。

竹の上をツルリ。流しそうめんつかめたよ

納涼流しそうめん



▲流し台を流れる素麺

暑い夏に涼を楽しんでもらおうと8月8日、イングラの丘で納涼流しそうめんが行われました。流しそうめんに使ったのは、福良産の淡路手延べ素麺200束。長さ3mに切った園内で採れた竹を7本繋げ、約



20mの流し台に流しました。島外からの参加者は、「竹でしているところが珍しい。子どもが『流しそうめん』をやりたい



▲流れる素麺はツルっと滑って取りづらい。箸で掴めると笑顔がはじけます

星のキセキと淡路島の風景を写真に

瓦師による写真展

瓦師の道上大輔さん(津井)が写真展「島空-shimasora- 輝く星々のキセキ」を企画し、そらみどう(市福永)で開催しています。展示するのは、星と淡路島の風景を取り入れた写真63点。これまで撮りためた写真は、個人ブログ(<http://nihoniro.exblog.jp/>)でも情報発信し、今回はその一部を展示しています。

道上さんは、「忙しい日常の中でふと空を見上げると、そこに昔変わらぬ淡路島の風景がありました。普段は見過ごしている郷土の価値を写真を通して、再認識してもらいたいという想いがあります」と話しています。

※雑貨販売店「そらみどう」=10:30~19:00、月曜日定休☎42-0932



▲8月20日から1か月程度展示するという道上さんは、故郷の星景の価値を知ってもらえればと話します

古代の文化にふれる

勾玉づくり

勾玉づくりを8月23日、三原図書館駐車場で、子どもたち70人が参加しました。このイベントは市の「わんぱく塾」の講座の1つ。手軽に古代の文化にふれることができる講座として、昨年からは行われています。

勾玉は古代人が石でつくり首にかけていた装飾品。縦5cm×横3.5cm×厚さ1.5cmのろう石に勾玉の形を描いた後、サンドペーパーで形を作りあげました。参加した原洲菜椰さん(市)は、「丸い形を作るのが難しかった。色を塗り、綺麗なアクセサリーに仕上げたい」と話していました。



▲3種類の目の粗さの違うサンドペーパーを使い、勾玉の丸みとツヤをだします